

10月例会 アンケート結果

No.1-1

1.【職業】

| | |
|-------|----|
| ・会社員 | 18 |
| ・公務員 | 11 |
| ・自営業 | 7 |
| ・団体職員 | 2 |
| ・主婦 | 31 |
| ・その他 | 8 |

2.【年代】

| | |
|---------|----|
| ・二十歳代 | 2 |
| ・三十歳代 | 24 |
| ・四十歳代 | 24 |
| ・五十歳代 | 7 |
| ・六十歳代以上 | 22 |

3.【性別】

| | |
|-----|----|
| ・男性 | 29 |
| ・女性 | 43 |

4.【地域】

| | |
|-------|----|
| ・本庄市 | 34 |
| ・美里町 | 3 |
| ・上里町 | 23 |
| ・神川町 | 5 |
| ・他市町村 | 7 |
| ・他県 | 7 |

【質問1】

今回の講演会はどのように
知りましたか。

| | |
|------------|----|
| ・告知カード | 8 |
| ・ポスター | 9 |
| ・新聞等 | 5 |
| ・本庄ケーブルテレビ | 0 |
| ・インターネット | 5 |
| ・知人・友人 | 43 |
| ・その他 | 12 |

【質問2】

放射能汚染について、いつから
関心がありましたか。

| | |
|---------|----|
| ・原発事故以前 | 21 |
| ・原発事故以後 | 58 |

【質問3】

放射能汚染について、どのくらい
関心がありましたか。

| | |
|----------------|----|
| ・かなり強い関心があった | 27 |
| ・関心があった | 36 |
| ・少し気になっていた | 11 |
| ・あまり気にはしていなかった | 4 |

【質問4】

本日の講演会で、放射能に
対する不安は解消されましたか。

| | |
|-------------|----|
| ・解消された | 1 |
| ・やや解消された | 16 |
| ・変わらない | 41 |
| ・ますます不安になった | 7 |

【質問5】

本日の講演会で、放射能の影響について学べたことは
ありましたか。

| | | | | |
|------|----|------|-----------------|----|
| ・はい | 54 | その理由 | ・初めて知ることが多かった | 23 |
| | | | ・わかりやすかった | 30 |
| ・いいえ | 18 | その理由 | ・既に知っていることが多かった | 13 |
| | | | ・難しすぎてわからなかった | 4 |

その他、「はい」のなかで以下のようなご意見がありました。

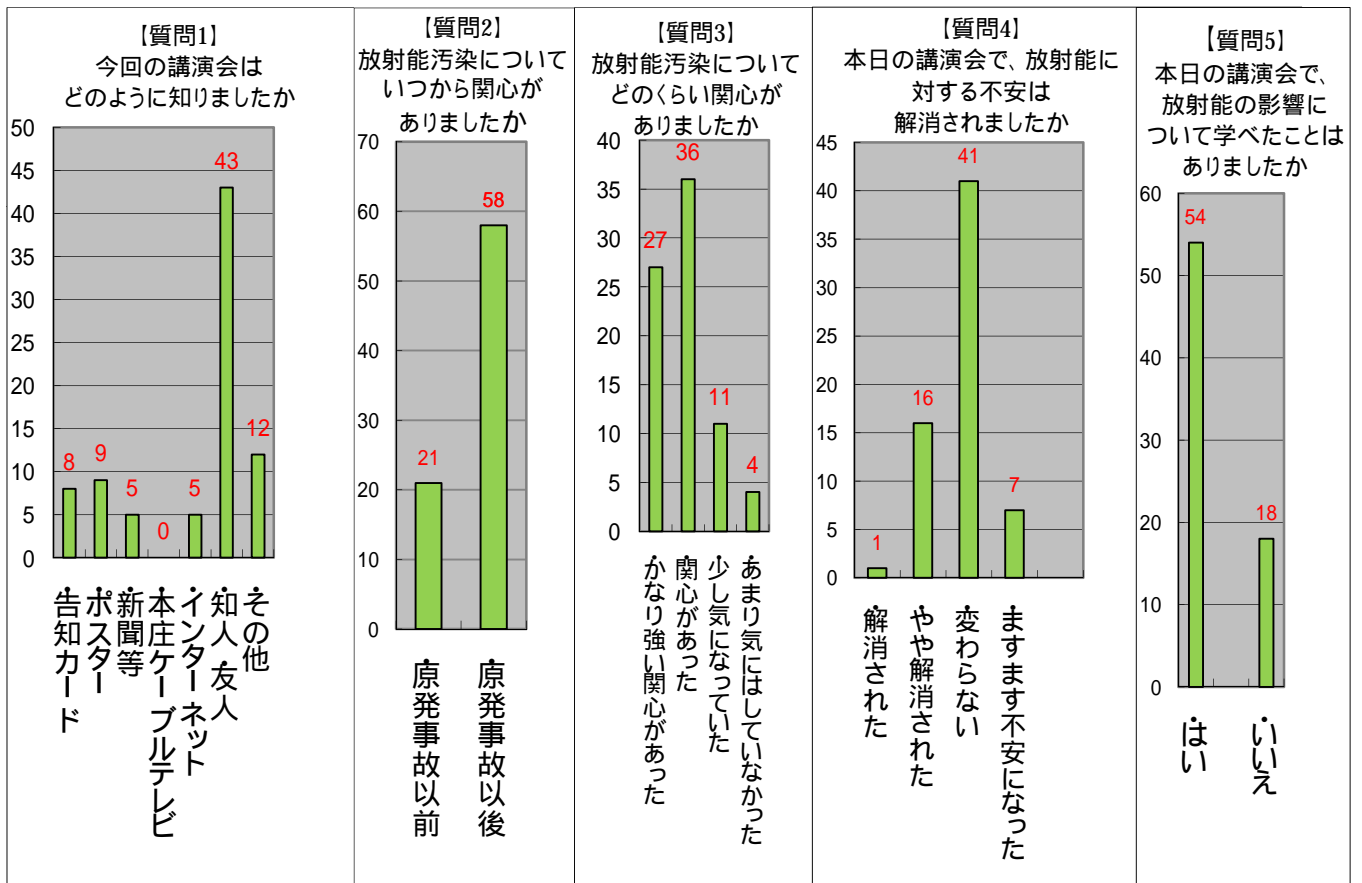
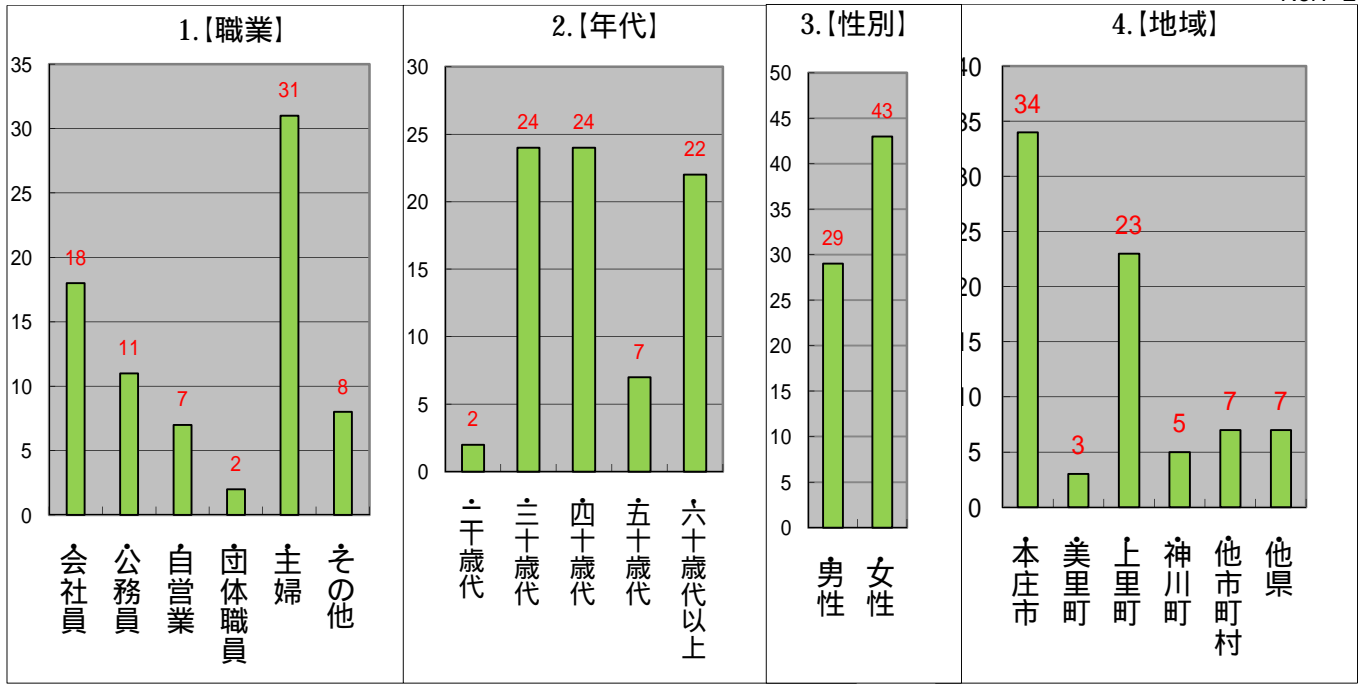
・他国の基準のみ(を学べた)

その他、「いいえ」のなかで以下のようなご意見がありました。

・児玉都市の詳細な情報開示と、その対策が知りたかった

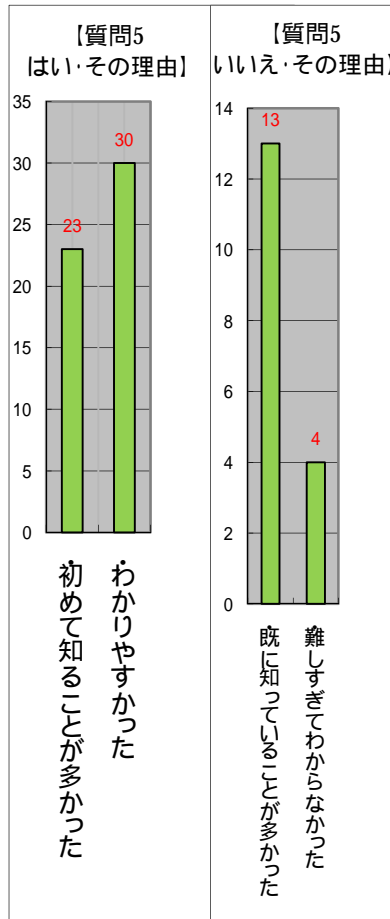
10月例会 アンケート結果データ

No.1-2



10月例会 アンケート結果データ

No.1-3



10月例会 アンケート結果

No.2-1

[質問6] 今後、放射能汚染の問題に対し、どのように取り組むべきだと考えますか。

| | |
|----|---|
| 1 | ・子どもを守るために、現実問題として、時間やお金も考えて何が出来るのかを、行政・保護者が何が出来るのかを、考えていくことが大切だと思う。 |
| 2 | ・たくさんある情報の中から正しい情報を見つけ、自分達で子どもを守るしかないと思った。 |
| 3 | ・できる範囲で、できることをしていきたい。 |
| 4 | ・低線量放射線の内部被曝が子ども達にとって大変危険なものであるということを、国・自治体が本気で考え、基準値や検査体制をしっかりとやってほしい。また、このような講演で活発な意見交換をする場を多く設けていくことが大切だと思う。 |
| 5 | ・除染する事と定期的な検査が必要だと思います。 |
| 6 | ・何事もかかすず、誰にでもわかるように。 |
| 7 | ・自分で考えて自分で行動し、子供を守る事が大事と思った。 |
| 8 | ・汚染されたものの保管場所を国民的な議論にしていくこと。(結論を出す) ・食べもの、水の放射能に関する表示を統一すること、必ず表示することを義務づける。(法制化)残留農薬もできれば・ |
| 9 | ・日本の暫定基準値を見直し、基準を厳しくした方がよい。飲食物の検査を義務付け、安全な(数値の低い)物を食べるようにする。 |
| 10 | ・子供達を第一優先に守るべき、学校・園の校庭、公園などの除染を速やかに行うべき、給食の放射線量測定と、基準値の見直し。(高すぎる!!) |
| 11 | ・子どもの放射能汚染を最優先に、基準値を最低にして、新たな基準を設定すべきだと思う。 |
| 12 | ・本庄市長の仰るとおり「見える化」が大切だと思います。その際「基準値以下」と表示するより、実際の数値を公表すべきだと思います。 |
| 13 | ・子供達を守るために皆が強い意識を持っていく。 |
| 14 | ・あまりにも関心のない市民が多いように思う。多くの市民の意識が変わらなければ、子供を守れないのではないかと。放射能汚染の害についての啓蒙が必要と感じる。 |
| 15 | ・自衛 |
| 16 | ・行政を動かすには、声をあげることだという意見を聞き、そのとおりだと思いました。 |
| 17 | ・子供の将来にわたる健康を優先して考える。 1.園児たちの口にするおやつ(農作物、乳製品)についても検査をする 2.給食の食材を汚染されていない地域からのものにきりかえる。国に頼らず独自の基準値を設ける。 3.幼稚園児、小学生などの遠足先などをより高濃度な汚染地域へ連れて行くのはやめる。(芋ほりの危険性も検査の上でつれていってほしい) |
| 18 | ・たべものに気をつけます。やはり産地を選ぶしかできないと思います。 |
| 19 | ・今、するべき事を的確に確実に確実に実行する事だと思いました。食品に放射線濃度の数値を表記していくべきだと思う。 |
| 20 | ・子供の被曝はさけるべき。給食は産地を西にするべき。セシウム吸収係数が高い食材は産地を問わず仕入れないか、下限2Bq/kgの機械で調べてほしい。(ベリー類、きのこ、栗、柿など) |
| 21 | ・土壌汚染、内部被曝の問題に取り組む。大気汚染は気にしなくてよいと聞き、安心した。 |
| 22 | ・自分たちの意識を高め、声をあげていかなければならないと強く感じました。 |
| 23 | ・正確な数値の発表。 |
| 24 | ・一番厳しい基準を適用し、安全立国「日本」として再生への道筋とする(新しい経済活動ができる) |
| 25 | ・知るから考えることが出来る、メディアからの情報が全て正しいとも限らない、どう判断するのか自分を持つことの大切さを改めて感じた。 |
| 26 | ・食の安全、主に給食について取り組むべきだと考えます。 |
| 27 | ・放射能汚染についても、もっと大人が学ぶべき |
| 28 | ・検査体制の強化、全食品のサンプル調査 |
| 29 | ・情報公開 |
| 30 | ・正しい知識、情報を持つこと。行政から一住民までが、同じ方向に向かって問題解決に取り組むことが大事と考えました。 |
| 31 | ・情報開示が一番大切。 |
| 32 | ・各地域の正確な情報開示とその対策を市町村が指示すべき。 |
| 33 | ・国の責任ある対応を期待する。 |
| 34 | ・基準の説明、根拠。 |
| 35 | ・行政主導でなく、自主的な取組を実践しなくてはならないと考える。 |
| 36 | ・正確な情報がよくわからず、何が正しいか間違っているのか、しっかり判断し行動していきたい |
| 37 | ・継続したモニタリングが必要 |
| 38 | ・線量計のレンタルがあればと思います。 |
| 39 | ・脱原子力。学者がしっかりしないと、無知な国民は守れない。 |

10月例会 アンケート結果

No.2-2

【質問6】今後、放射能汚染の問題に対し、どのように取り組むべきだと考えますか。

| | |
|----|---|
| 40 | ・早期汚染処理、汚染物質の処理、情報開示 |
| 41 | ・多くの人に理解されるように、学校や一般の方(行政等)に学習できる機会、昼夜、休日等で実施してほしい。子供の健康診断を考える。 |
| 42 | ・これからも関心を持ち続けたいと思いました。農協等で販売している野菜の安全性はいかがなものでしょうか。 |
| 43 | ・出来ることから取り組むことが大事。見える化は良いと思う。 |
| 44 | ・本日のテーマ「放射能汚染から子どもたちを守ろう」このことについて学び、発表し、啓蒙しよう |
| 45 | ・家庭菜園や、住宅敷地内の測定をして欲しい。米は安全宣言が出されたが、野菜も心配。 |
| 46 | ・正しい知識を持つ事が大事ではないかと思えます。世の中の一時的な流れで流される事なく、落ち着いて行動すべきでは。 |
| 47 | ・学習して知識を得ること。 |
| 48 | ・内部被曝に関しては、正しい認識を持ちながら、関心を持ち続けていきたいと思えます。今置かれている現実がそのまま未来になります。うやむやにならないように、監視していきたいと思えます。 |
| 49 | ・国が全ての食品の汚染度を細かく公表し、各食品に全て表示すること。その際の限界値をできる限り小さくして、(限りなく0に近い数値まで計測のこと)その上で各自が判断して購入することができれば復興支援にもつながると思う。 |
| 50 | ・講師のいわれた、さまざまな産地の、さまざまな種類をとらなければと思えます。しかし、むずかしい状態ですね。 |
| 51 | ・長期間の取組み |
| 52 | ・国の対応は後手に回るし、信ぴょう性も疑問。市町村単位で食物・土地の測定を行い、食と子どもたちの安全(はないのだからすこしでも)を高めてもらいたい。 |
| 53 | ・情報を正確に伝えて欲しいです。 |
| 54 | ・内部被曝を防ぐにはどうしたら良いか考えたい。 |

10月例会 アンケート結果

No.3

【質問7】本日の講演会で一番印象に残ったことは何でしたか。

| | |
|----|---|
| 1 | ・黒部信一さんの蓄積された放射能の情報がおもしろかったと思います。 |
| 2 | ・放射線は子供は大人の10倍受ける事。 |
| 3 | ・日本の基準値と世界の基準値。 |
| 4 | ・チェルノブイリできていたことが全て良いとは思いませんが、今回の福島原発事故後の対応に何も生かされていないことに驚いた。 |
| 5 | ・影響の出やすい子どもを優先的に安全な物を与えることの大切さ、子どもに不安感を抱かせない大人が学び教えていく。 |
| 6 | ・福土さんの主張がすばらしかった。 |
| 7 | ・すべて。 |
| 8 | ・パネルディスカッションで国の基準値が大きすぎるというのを、小泉先生の話聞いて実感しましたが、キッズアースの福土さんが指摘して下さったり、同じ母親としてステージに立って下さったためわかりやすかったです。 |
| 9 | ・福土代表の、母親としての立場からの発言には強く共感した。 |
| 10 | ・福土さんの母親の思いに共感しました。気にする生活に少し疲れ気味でしたが、励みになった。 |
| 11 | ・パネルディスカッションでの立場の違いから出る意見の違いについての討論。 |
| 12 | ・子供は大人よりも放射線の感受性が強く、数倍もの健康被害がでる。より安全な物を飲食する。 |
| 13 | ・放射能による子供、幼児、妊婦にあたる悪影響が知る内容だったので良かったです。 |
| 14 | ・基準値を上げて、野菜を出荷している日本政府のことをますます信じられない。できる限りの事の意味は移住がベストなのか。 |
| 15 | ・こわがらずに向きあうことが大事。 |
| 16 | ・パネルディスカッションでの意見。 |
| 17 | ・国の具体策が相変わらず不透明 |
| 18 | ・知ることの大切さ |
| 19 | ・内部8割 外部8割 大人より子供は10倍の被曝をするということ |
| 20 | ・母はがんばっている。 |
| 21 | ・子供の内部被曝による、体への影響 |
| 22 | ・セシウムはマスクを通すため、外部被曝より内部被曝に関心を高く持ち、放射能の高い物を飲食しないように、産地を分散して食品を選び食べるようにとのこと |
| 23 | ・食の問題 |
| 24 | ・本庄市長が、この問題に関して住民目線で取り組んで下さっていること。 |
| 25 | ・散らして食べる。 |
| 26 | ・日本の基準値があまりにもゆるい事。 |
| 27 | ・親の立場、行政の立場で発言しているが、今我々は何をすべきか。的確な情報を得ること。福土さんの母親としての立場での発言には、納得するものがある。 |
| 28 | ・子供達は大人の10倍となる。 |
| 29 | ・できる範囲でできることをしていくしかない。色々な産地の物を食べる。 |
| 30 | ・福島現状を知りたかった。 |
| 31 | ・内部被曝、食の汚染測定不足 |
| 32 | ・難しい内容なので、文章の説明のほかに図や色別での資料が欲しかった。 パネルディスカッションは、各々の立場でのお話でよく分かりやすかった。 |
| 33 | ・子どもの安全に対する、パネラーの考え方のずれを感じました。本庄市の空間放射線測定結果が非常にちぐはぐだったのですが、測定器を変えたことにより信頼性がもてました。 |
| 34 | ・米国は知っていたこと、今でも放射能が放出されていること、日本は測定値を持っていないこと(当初の、初回の)、雪が悪かったこと。 |
| 35 | ・子や孫の食品に対して、何十年間も気を使わなければならない。それが続けられるかどうか心配を言う意見があった。 キッズ・アース福土さんの言葉 |
| 36 | ・食品に放射能の測定値を表記して欲しい、という意見。 |
| 37 | ・子ども達に夢や希望を持たせ、明るく楽しく過ごさせることの大切さ、子ども達の内部被曝をできる限り無くすため、食品の産地分散を図る、大人が食べるものと別にすること。 |
| 38 | ・子ども達を絶対に守るべき。 |
| 39 | ・講演者、聴講者ともに熱心に対応していたこと。 |
| 40 | ・黒部先生が知っている病院にいらしたから。 |
| 41 | ・ヨーロッパでは、牛乳をまぜて売るのが常とう手段だった、ということ。 |

10月例会 アンケート結果

No.4-1

[質問8] 本日の講演会の、ご意見・ご感想をご自由にお寄せください。

| | |
|----|--|
| 1 | ・子どもたちを守るために、飲食物はどうしたら良いのか。今までと同じ様に生活していて大丈夫なのかなど、具体的な内容を知りたかった。 |
| 2 | ・聞けば聞くほどわからなくなっていくような気がします。自分でもまた勉強したいと思います。 |
| 3 | ・できることをできる限り行動するということが印象的。 ・「説得」するのではなく、「納得」できるようにしていくことが大事だと思います。(一方的なもの) |
| 4 | ・福士さんのように子供の未来をきちんと考える人がもっとふえてほしいと思う。 |
| 5 | ・小児科医の方や市長などたくさんの専門の方たちが参加していて、普段聞けないことばかりなので良かった。 |
| 6 | ・今、一番関心のあることを知る機会を作っていただき、感謝しています。 |
| 7 | ・本庄市は低線量地域だけど、こういった説明会が開催されありがたかったです。次回も参加したいです。託児所も助かりました。 |
| 8 | ・貴重な機会を設けて頂きありがとうございました。 |
| 9 | ・国にまかせては子供が守れないと強く感じました。 |
| 10 | ・どこかひとごとに思っていたものですが、感心深くなりました。とくに子供の内部被曝を避ける為にも働きかけていきたいと思っています。 |
| 11 | ・勉強になりました。また、こういった講演を期待しています。先生のお話をもっと聞きたかったです。 |
| 12 | ・ちょっとむずかしかったけれど、知らなかったことも知れたのでよかったです。本庄市のこともふくめて。 |
| 13 | ・福士さんのお話がとてもいい、共感できました。 |
| 14 | ・ 質疑応答の時間をもっととってほしい。 今回のこの講演会を知らない人が多すぎる!!!学校や保育園で配るべき。 |
| 15 | ・検査機の不検出が何ベクレルまで計れているのか、0.1ベクレルくらいの単位で計っているのか。学校給食の(幼・保・含め)食材検査の徹底をしてほしい。 基準値を下げてほしい。風向きで放射能がとんでいる時は、市で放送を流してほしい。 |
| 16 | ・ありがとうございました。 |
| 17 | ・会場からの質問をもっともって受けても良かったのではないかな。 |
| 18 | ・参考になった。 |
| 19 | ・講演会を聞きに来た人からの質問を受けつけるべきだと思います。もう決めてある問題ではありきたりの答えしかみられない。何を聞きに来ているのかももう少し把握して下さい。 |
| 20 | ・実は誰も本当の答えを知らない、どうとらえるのかがpoint。国に頼るだけでなく自分はどうするのかである。 |
| 21 | ・直接体に関わることを、小児科医である黒部先生より直に聞くことができよかった。どの様に放射能とつきあわなければならないのか、少し参考になった。市長へ、全ての学校、お店、保育園、公共の場(公園など)、目に見える表示をしてほしい。市民の安全・安心を考えてほしい。お店の品物の表示をしてほしい。偽装なら防ぐ為に行政チェック厳しく。 |
| 22 | ・もっと質疑応答時間を設けてほしかった。特に本庄市としての取組みや今後の対応について質問したかった。 |
| 23 | ・市長の"みえる化"に期待しております。高低両線量の食品を、さらに低いレベルの線量にするような、有効な方法を多く学びたかったです。 |
| 24 | ・小泉代議士の話はわかりやすかったです。 |
| 25 | ・黒部先生のご講演では、マスコミ報道等で聞いている言葉や情報の意味等が正しく理解できたと思います。 |
| 26 | ・物理学的に専門の分野の方の講演も加えてほしかった。 |
| 27 | ・放射能汚染について、将来を含めて今後もこのような講演会を企画してほしい。本日はありがとうございました。 |
| 28 | ・孫が栃木県大田原にるので、高線量地なので心配でしたが、少し楽になりました。 |
| 29 | ・本庄市内、広範囲の線量調査及び公表。 |
| 30 | ・大変大事な専門的なお話でしたが、放送大学のもう少し一般の方向きにされると聞きやすい。どんな機具でどのように計るか、現物を見せて欲しかった。(一品でも) |
| 31 | ・講演資料を用意していただきましたので、よく読みたいと思います。 |
| 32 | ・初めて知ることもあり、わかりやすくもあり、もっと問題意識をもたなければならないと感じた。 |
| 33 | ・この講演会を計画実行した、貴会に敬意を表します。 |
| 34 | ・もっと多数の方に聞いて欲しい。 |
| 35 | ・今の日本では、どうして身を守ったら良いのか知りたい。 |
| 36 | ・未来を担う子どもたちの健康に、真剣に取り組むべきと思う。 |
| 37 | ・本庄市長 食べさせたあとで線量がわかるという方法である。(調べて、あとから、あの時の物は、と言われるのであれば、知らせない方が)良いはずである。給食制度の見直しも考えてほしい。弁当持参を気持ちよく認める考えを広めてほしい。 |

10月例会 アンケート結果

No.4-2

| | |
|----|---|
| 38 | ・ありがとうございました。聞き取りにくい等ありましたが、色々と自分自身も勉強していきたいです。 |
| 39 | ・第一部、基調講演が長く感じられた。 |
| 40 | ・当方は医療関係で、放射線業務に携わっておりますので、今回の事故には大変憂慮しております。小出氏のコメントは、ラジオで毎回聞かせていただいているので、共著を出される黒部信一氏のお話があることをたまたま知りまして、飛び入りではありますが参加させていただきました。ありがとうございます。 |
| 41 | ・場所も良かったです。1時間以上の講演では、途中で休憩が欲しかったです。 |